823 MAN2

域、 42

Flow, Ballety of En-

句無鄉鄉宫 十五歳 光隐後即方々即不分事 芝君為冷泉院中梢子於院礼服变 一家官与三家安备月十五日通住佑事 三宫即无服之後写兵都心官支 今年二月任侍徒事 少旁右大人奉後一条言於礼散里良町事 四位侍徒 私会此卷引以意君奉之 句官十五殿

十六歳

秋凉侍後任右近中将变 秋、秋八陈同"任中将也

秋任右近中的又任宰相

院門给加陷变

原中尚奏香夏

源中将数告身非六來院中子之变

母女三官從念佛即行变

原中将冷泉院中設青司夏

秋任中的言

董宰和中将 敬三 任事

句宫思念院女一文院支 れるいとう けかい事相中的りてけれるり はそり約え十九日から一年三個一年相子行中将之人了 代電りるので事れ八中やいるの事、格略をはぬくろう 相も中かられてのしくけるしてとけるい事相にを行うおる 一うとをすからきい事

董中的系三条官房爱

打六条院之行購号運餐臺 干時夕旁左大阪新左大原六 夕旁右大臣以数的侍阪六君為一余宫養子变

B M Bar

少了十二月

三十ですって之格して好てゆは下任一十九日で家相中的と 我等美人的人 等後之事故不知不能之名 けっとうろ 场底、物态小孩八八世人、马为人名为了客了了中的了了 致自宫 一名董中将 似铜為卷名 しけってい

不審社役うからんいかれ一下部的家養傷のとうようなる ろろでは、1分人小子中一方本~~事意け裏院、各人力で 出めたのゆかろうちゃくれてはちふ有门亦室门之心しめる からいちつくる傷あからうしけかれいい 近去帝小小人的大人数、假部一一此多级八中 了了台代は人了了意的他的地位了人的空通也和產帝 据さるくろの古人い村とせりなしるあならばれるちともう ろうならるところうの地をつ事にのした東風すりならとし 松、卷名以利号之各名人名人人工在大切自己了作声代示不 る事了好人方面代夏教を分 らぬものりつか 道し秋る立的之教

ろうけか小はのあゆうかれてるいろうんと 寄せける。一代就就到了了了多地方了死多八十万人 此美多小一排的我人仍遇之又和了 人可放下仍遇之他么之致向去与去人之 きナグラで二月えぬてか中的ふのとるナ 善いる立义はをりぬい十つ人とるけるいけ 大きり十とすってけるいを限の中小ゆう そうちみうり うずていたなっているようともサインのますよう 安和、山平约是仍次了了美三月的名 のれどううしからしてい五子中へかる十十万 切者是此白客一路一门九年的一日春日的美人车龄的 別のあ物るときるほそけったけ 到了八日本小風孔 少りてえれののる るで及みゆ とまろう 七色色事相 くぬ

西京市市の

本意 のでもなっては、一つであっていると

一年 日本 日本 日本

當代乃三言 富代乃三宫 美有宫 原外即即 明石中外交泉尾的像成此本子子 人口没家家比事了 をうろかであり 根地化をうるとうのかるの中山各人了り人人大比的小多人的人人 光色的小一俊 ちんな名を見のあるにはのかるとうつのけるようなのかられるとうないというしまるとう 松光里好概况小路看了了了二三人的海外里地之了 養一品表代的後了机管了了了了人名代表是一格多 かったくろうのというのうなからいろうのうかったくろうのかられているからいろうのう 多けらかりきとしてろうとき 海教中の後とりのち、多号代後、教学とこの ら大陰院的的 お子君けれ れも 名杨 くるのろ

で根本よう でなれたろくいい人のこのかのくるから ~ あつめへんさゆいかくろうちょうちょう してからかんろうかっと 我はなるなのであるというとうかんとまるいいるけつ かけれかまてかり 今の世に被群了人人一方代的一世小此多也いて恋を人院人艺七 ことかります。~人の今人あるほのかかけゆりと、人のか を主まいちるでをえいまで二不の気のゆろうから のおくと大大家にとりでもしましてあふ 着えというららに、像代してみい出くす ほの代わからおくるーそのより、ものえ TO BOY SERVING THE STATE OF THE 此句とまったちのようときくかくではいき 化えの批判之後しりいかしするもの 一て你のあきるしいったのです 板なな人 明めるの初養帝代 ったつ なるりとりつし 气杨 しとえい源 小多数行 りてなの

かけるのかりではあるれかいかか 美人意风的人工中一多人用石中名此的 ありたりかんとうくろうくろうんのゆいれるかんり人をあるとうちんのゆいれるかんのは、れるかんのは、れるかんのは、れるかんのは、れるかん 地色光发惯性他们了了了以后候人比如 るとくれることのかんのかのからいっていり 事からとる間のはとお後の人もそのようものみゆうといい 後ける奇物的に原のアパですて威光うありて うとなるのかとしかけるというかったままとろう そのうないろくまするはまてはの風光のつんとゆい出からいろかしてりとあるゆりにするからかいからいるからいるかしてりとあるゆりにすてかいのか 白蓮代自分後の10つきかそれのりでや初重点小か ししそい次の野東な う他にうれい へのえばるう からかりえの M てれると

立といろとある 大意に帰れる出町八东の對小 右蓋相師輔公 そうちょうしまり で三天七年天七八一俊春夏心小蘭司司少丁時 ニスーローやしのろろん つやさらうらとう なかれままれたいろうくけっきるないろうとけのかりって中記にありましているとうとけのかり わターラいきい きさいへまし 美人的女子是一人 美政戸方し で女一家いまするとは一般生とうやしつくんの 2夕多代与了了的的的代本人的《亭末志、小白文的少五次多人的 人はなられれるもちろうとうり中るいことへもううかいい かけるとまからろうりかり はなるりてりるけるちんの中るとしく するいきのれるりいまってあるにとしる 3 ゆるするし を寄するでの一条の努 主上之作連松少少多程作る例 三君 ストルとは下をする 私二修定了了 实子中发 至子尚 侍 か白文の印後のえず 送とけゆう、女一家けかんない 村上右 重明親王上 る明と室 一大多 3 いかれるとう 六多九 七五十分多人 つきていいいか 1 23 もいたい のをはると んのよう

であっているかくないりろう せのういそつひょく えろうちかり へんあろとはのしかい かりのはいくしく である心心不可言、除酷公の何多院とう かるいりかのし かつかりとんずいろううりけるしい で大東尾」でいまり、海氏の内ろの人生 1年原の東八院 五世原氏代 死り星代化まり たら星代のまりしている 美 高華宮 状ぬるは多りいうしくてからい わりのゆまです 美 表情我一都 漢京中朝 してかりるいろろ 松门的变然数遇 仍氏代的重松 稀 鸣

せいるくとはけらかるからか るいろうれかりかく ときままるのうのうとううかけめのはろうくときまとうないかりくうかけるとうないからいくとうかけるとうとうないからいり かかいようかのかんであるいんではぬいているからいっていているのかん やさくりけ来のためしろりで るしるとのまるりろう たつかしいしてう 次り切らわしろれてるろう なりかりくというでき人の名とうてといたかからいとう 生けれりしのとう あただら 東記 美 CHE COST う人の声言 一名の茶を

二品八多万了了了 するのなのはのはんりるの うけってきゆるはいさんりつとて 欠威 传死径 美 見のなうり、きいかろうちぬかしもかかえゆい 此初からりるうける 死的我位分,谁赏春平古川多好了 めらいくちってめている格をあるてかる かかゆるゆうとれんろきいつきもや らはあるとようううりんとうべきと まているなるでしてあるからのは ゆうとも切るべいはすしゆうとうとうというとい さくろうとううううちょうしくすり 死多柳回川之 一時によっていりからったの多いの 和年一川方如何為り了人代方で松ん ゆうから 5 な形 とちり

作るりそうけるのかと 侍徒年中任羽林例 字治刷白賴道安保立一大九服的大同侍徒聚田冊白道兼天元二十二二侍徒寬和二七十六右中将自 秋右を中かふきてくりの秋中からは上人とれたち、十六岁の秋降同小中からはらくるとれ行られたとうとい何といりにより年 なけるとうとうとしているのでは、ほのなりにつましたとうとうというというである。 はのを見る 一天中将小海でうかいいつらてらるすったからといるれるではる中将一書でみると年がからはのおよかはとうるるをあるであったのであるというであったのであったのであったのであったのであったのであったがあっている 秋的には正式りはりまってう 多切り日本代を了いるでれるとけのかろうかり人はきぬい 的を外院 後いとれるいる 佐 了中东,大小人

えかそろとから おされるられかのそうちの いてあいるく きけいのまけれかの之年月小子でありまするといい からなりにちまるとめて、差以大からうくととからないというにものというないというにものというというというない大からうくとと たとうとうとうとう きょうかん を変えの中からはあるかいによめかりとうとうかっ きょうしんてきんみをによる 谷泉没即给一四位小叙号一是 死多回 ちきくとおうろう 松泉院与了对小女友等人分为 自ちるると体がぬけられているとうとうとうないののかけるとうなどのなるとうないののなけるとうなっているのであれるとうないののなけるとうなっている 松松中京代西門名西川小ゆうちまく からのかりあるとうと れるのまである。側面から国と、修作りの 母人のおいいしいくまれいえとうとろうのう 弘中安ときるのは後かり むみ 他限了一切多人仍是或部心灵白家中势震切 うつきのつきるとうしゃてい 院するうう 多文代的元年中 かとまってかのろん ろくてるといろまたはない 和白 董中心る相求なる との 美能多说智 秋ぬ中とでをなて めないとうれとかい しらしと からいまれえい 変化一多明して 代为 3 しせ一天小ちあるち かっかい

を他院本、一人をあるるるが、羅服別名為一人人了了。一人の多名人 らせずかしまるのるもいかりいかりからくう あまけるとのういありてのされる 1 あ変ましてるの

む那家多強と、地比好多世代的聖夷少とりの一あくる破罪の それなりおんなかけないろいをありましての見れて間をきるな 生大臣叛之亦蘇多羅然児於投之合不境是 聖夷太子記候及で化出家之後六百小世八日 那就多難比丘死之分耀眼羅等者佛出家之後经於六年延 金とういもくころ成えのとくちいり 的のあるちる時小で腹るとる我个成化人多次的は かゆうしまるのかあるかのかんさいらしいのちるを接んだけ あるみからいでんさくりといるの同じるつき 及乃我多小同なんず るかんできぬがいのれてるなる 巧同為我亦恢多雅之因位體夷羅服羅生時之变 見的纸下 了一死多。悉多了說你時羅服竟得 八来東代紀到とさか 则长名言 此图以出 あるり

個とうなっていめのちゃいろれるようなあるかのないとうと 子声一处也第二处之罪云名那祖示名那 城生女之時同門沒無明照其家内皆明同立字之聖夷郡屯 瞿夷此明少 舎夷長者少甚者名水光 以帰名餘明帰居近 輸其父名移於長

おゆりんかりまとりゆ 大はするりといれるのうろうかろういんとう うからしままとかりくめとう 養えありますりとこけってう 父でとくですしぬふうしてては客とう ううしてなくてしる 已上发 かりえるからある 電候るの

SALL SALL

むまのかいういけるやうこれなれのあるとうつとう あっているるというるのかりしているとうないであるとうとうとうないであるというあのかりりているないであるかりりているないであるとうないのからなるというあるかりのできなるという 美色の一をらいってするのせるのを私各級のかっ サイカルグうそくろういろうかして来よう ちつかいからのあれれるというんされられるなけのあるれつ ふあるそうなの別けらかいくつなろくしる つるいかるでは独着者いつるいゆしかん ゆくろんれんとはつするのきいあるふゆく 出すなるのういいいろういくしてからうべり がきのとちをかれるとうようとういっからとちかん てちて面向八六多人のゆるいれてゆかりてけるよう 本龍 然看着 であったの でする多く かとうのしる に差れて

いられかよう きてのまていかりかしまくまっちの ゆるもあるの内でころの とうないかかして 一大きのからしているとうないられているとうないのでする 一大きのからしているのでは、あるとうないのでは、これをいるいろうというにいるというにはいるというにいるというにはいるというにいるというにはなっているというにはないるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはないるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはいるというにはないののではないるというにはなるとののではなるというにはなるというにはなるというにはなるとのには かられるうち、那無陀羅、笠華色又云后河泰建次地のでんかったりのとないるのでは、我とことを変を達次地であったりのとうのかというというと、ころのから、 なる、非確を見のうべいれているのののからまるは、非確を見のうくに修行成就、あるいちろう あとりのですけるとのとくきま 女三宮俗部之時兴人知城中人格坊了行小似人的人 私意一生活出的意意一代本小子了 大人知識出家上了八為尼安之宝三治義集 私个上八女三克 連ねってのりむっと ST. 人るる雅俊元 てか 限るり いきある

からからかくう 院のあり一との一番後原氏はまりまれるいき 松明る中まかり きないしまれて からからいろ多人かり あり な代わる りてきるとうしし たけけりに帰来るろうのかの物と教をうれる様とあ おくいうり中かしゆしく六峰をふてみんいくろの 和分分人的人中有我的多了了一门和世的 くうちをい 美を男かり あっかろうるはのの むけきいの意いゆる中多でか はのかくう 和的人多大后二年大月中人 は日の

あるなりるかり とり うり多いくのあれから そのくゆしちゆきれのあるうか 如抱異朝有例一絕大子数月懷雷致後宮夏欲抱及此示其德太子之一一絕大子数月懷雷致後宮夏欲抱及此示八十随歌好了一四十二者毛孔出雷气四十二八口七九上雷美 は代学のから、 好感吃小孩后与了的人人了了 る代目のかのかんかうう 重の多りからうてもあり 異朝有例 おあるちま れるとのなろ

むとうるとうにおうろいろろうの おさくとうそつきょうり まいねけるかろのとういろうとうなるのとう がきるとうううしょるをなるとうううした。 たまれるからいた はつつものけれりつりもくめら そりれてるるの人ありとろうと ある代本小 からかいっともあるくりと 梅のじきりありる むあかつるけるかのかむりれどれるま るとうかんいというますてものできないい するんしゃり 女都の女子となる からめのとでしるはってしたるれかいかかし吹き はゆうかりいれやちもつまてきいろはなり 冬天川气的的"二首教多了一首多了 くるかめつかいまるる 女郎を放いてい茶をあるしいい 老りとうとうとうとろって - よりくのようしか 美意あいてるや くろうう るるい」 は一杯の多 不知仍 墨多 代するというなると らうかときしりる ふしめん くるとしてと 3 72 を行う あずから りてと

ちる人のむいろうとりるるい百年とう 太八文之 菜條物 む角裏夢云两量 白樂天 そわ

そのなっとうととかりてもろい 去老野八名人们了人一多人的一大大 ゆり

ゆかりまるの 自然的人行物小的多色了 ーかりのやりしたころ

一代はよいまくろうくめて

原中的以及中心 着 多方方 多いつつちていつありもしいりてい 第~1 からしてかられるとき人のいま のかりちろうい

かりてい るななしくりというり を表共 差太的のやけれり他十九と他事相

後眠院の一名とうと 美女一多分

しきいろう 师何以致红土民代女 的年 多个户了了 美白まのかし

美比少一限と多名地とう代表了な名差中的人 松石了人 みふちゃく でするかとかいてもいいましょう 4 在多多小 やるかり

人代ゆうしてん 十九日ありの一年三色代事初了 それであるい人をようてはいかりときに他をかれてするようとうかのはあるい人をようないのかい人をしてもんと 年代の難礼勿海 重十に 他多つ せんいう

は異とうりっと後の中で1一ヶ年間小好 て言

南门后八下至人了 けられりいんできるりいあるれれりいますのか そうからんかくうりとするにかられるとうのというかくうりともうにんとうのというかくうりんとするにからしているとうないのとのないとのないのではないとのというかくうりんとするにいかとりなけれるとうりんできるからいるとうかくらいかというかくうりんできるからいっというかくうりんできるからいからいるというからいっというからいるというからいっというかっというからいる かのつうりくくくとくうろう ちろういかのうし回の名う そんるかんしょういか 多くなるい 多人とありようしてんん を行後のうちかかける をかけれたしくとうかのからあいるので 明天の内心は何的人多人、日本地路的人的 るかくんすめるときんとなりろう かりろいを見えてかられるからいかりのからいかりろいかっちょをあれているかんのうで てかなしてのつう変いすることのくろう たくるのかくなくないまけるまつろ かるからかって 了你多人的人的一年 多人的 がかいいくすりろうしょう しの中多いぬのかりり 白文了多人 ら 交条 かというちろの何又し そ けもりい 差の過和の他以野 移ちよけ からいりんろとろ しまい ゆせさなあれ そあうん イサナケ

かくろうゆくするとういるかりのかくなっているとうと ないできょう事代をきれるというすり あるとものしまったかくかくうちょうとくなりなったのか をのかとして 一条奏のさんあっているとうとうとうであっていいろう 美比段かつう 「くてつしまってけるないでくしているくているとうあかられて きしてみながけるしまれてもしますりはとう 代後了けてろう 一きるのけれるできます タをかつり 英名が代る小差いかい 美行きべるつうせんのか 十に当る

かろのうううしかといれているようかくのいう うちょうのというからい そろとしてくくのかとくろうりてものいいいろうないとうとのとうとうないいいろうないとうないのからり くってきる後のかでかりていかりとあれる人のゆる そうかってもるを相の中心小任を四き年十七人というのという 差元蔵ける月し は時夕旁右大阪あくた大的人をあった 小爱以为人人也的代的似如私了了 好了八天不可以多一种死了为少了四府 左右手騙了八天不可以各外有人不可是不可以以外的人 期射情和天皇复観二年三月十八日始之 名人射之た石大的村山代奏以上了事 めてきるま 協大的行

为付各本讀慶數 女母上 勝方大門奏可给很餐由之立持在右各々舞 羅後三袖獲利 勝方 乱声 次 年处喜 人数八龙石近各十人 兵 各七人 勝方 犯行 罚酒 度射污炎只石少犯"给次熟的 本工 等判着 次射 失政凌面炎只石少犯"给次熟的 本工 等判着 次射 失政凌面失大将追考了 心可以時子ろうからと代大的星八字子 的付将木寶慶惠 出居次附着座 出御警蹕 次的召至门之着重 敢写的羯殿行之 四府舍人射之 大蔵有進 昨日射道寡物的外外年正月路之 赌马、正月十七日或近门大日於 九射小孩一代人了了一个里也可以一十七日或二月十七日外人了人人人了一个里也可以一个大路上的一个一个里也可以一个大路是多大大路上七八路後少人是 三月於建礼门行之 觀之 代外墨東门院 上口了今月射手交后也 召龙右少将右人奏久龙龙之失大将進奏交置弓非失腰束奏放印说の後大将以文造座出居次的着座 出御警蹕 次初召五门之着座 數号 任 建礼不 港门市湯暑堂 行野酒大度射天 て風をとい

赌弓勝卒至其 草 之云 對弓 記友大臣向其声而龙近宫人以下 箕。 好條個在相撲不知作之故巡之後有相布门 次立礼或将三朝前有然欲之曲很有居或全東遊的监下条次将着與座請了公司備士教回座依養之也次垣下公及者座相對次将選後 北山抄之端射運後大的光為座 新王東着次的上巡後 北山抄之端射運後大的光為座 海下座也儲管回座 務方代大的次的と川辛一て星代亭子でいるで其備之時中 天禄例也少的條猶相模之時三献之後亦次的石相撲人大麦少的用作年番。 又幸を言い遊仙屈小わりるとうであるとうないますのちょうないまするといろとうないとうないのちょうないまするとうないとうないでいていますといるとうないとうないとうないとうないとうないとうないとうないとうない た中的右大将する光 れるけっち

つけてもしていけかからけるかっているといろではなくもいた そのける 和恒下 海洋に 宰相中将に私差に右けずけらぬなるゆうち かられるのなるなの物を方人子 兵部であるを強文なり、のみのうちもも多年は客でを立ちる。 うまるで大かまっており 中的物的 将罗西三条上 二男友内的 三男 4 李朝代影记了 多角たたか 本心 之牌出人 一大百八のうか

いしかにんしょくとくろうしての付れせるのようなできるとしているとしかいしからまるとしかいとはりある神代やとなられていからまるとしからいとというのできるとしからまるとしからいかられるというできないのできるというできるというできるというできない。 ないれるというとうにんないとうにしているからうれること 美衛代を向めてかり代布の気かり

それの人はきないとうのとうのはないからいからいからいからないとうのまいからいからいからいのとろの 及多方代初差いりけるものはありかく、別 我村のずれ 東子原意及之人的後とそ 一方代なるろうううしている。神のかんとるあべら the fire うるかりかりんでと を出るけるとはなくろうのうと比らりをますたけれた とうりふううちりの一会の人文文をなってといいとり なるいまいまのもあったとう 私笑子名川两首 差の低しを言 是重人力 まんめらてつると 意の気はゆり くる はくとりか そとでいめ いめるりて 9 330 ると考まれた あったけ られたのかくろれとし いなるの二酸 れある ac to のゆころ ると大き (A)

美名像成一般の分化と見つうり小子家代下 るでしてもめり みあってり 2752

